

参加費(1日だけでも2日通しも)

- 政策情報センター会員議員・・・5,000円
- 非会員議員(区市議・都道府県議)・・・1万円
- 首長・・・5,000円(協賛費)
- 町村議(会員、非会員問わず)・・・3,000円
- 一般/研究者・・・1,000円(1日のみ参加500円)
- 学生・・・無料(予約申込が必要)
- 地産地消レセプション・・・4,000円

参加申込み
締切り
7月末



新潟国際情報大学(新潟中央キャンパス)

新潟市中央区上大川前通7番町1169番地
TEL 025-227-7111

- JR新潟駅下車 万代口より 徒歩約24分
- 市内バス JR新潟駅万代口から本町まで約5分
本町下車徒歩約1分
- 北陸道新潟西インターから約20分
磐越道新潟中央インターから約15分
日本海東北道新潟亀田インターから約15分

参加のお申し込み、お問い合わせは
第9回全国自治体政策研究集会実行委員会事務局



自治体議員政策情報センター

虹とみどり

<http://www.greens.gr.jp/jouhou/index.html>

〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F
自治体議員政策情報センター・虹とみどり
電話086-244-7723 Fax086-244-7724

jichitaigiin.jouhou@gmail.com

分断と差別から 共生と連帯社会へ

第9回 全国政策研究集会 2017 新潟

8/18 金曜日 8/19 土曜日
参加申込み
締切り
7月末

新潟国際情報大学(新潟中央キャンパス)

新潟市中央区上大川前通7番町1169番地
TEL 025-227-7111

基調講演

「分かち合い」の財政で地域再生を実現する

神野直彦さん(日本社会事業大学学長)

トークディスカッション

共生と連帯社会をどうつくりあげるか

新潟県知事 新潟国際情報大学教授 日本社会事業大学学長
米山隆一さん 佐々木寛さん 神野直彦さん

分科会

日本海・東アジア地域の平和と共生

講師：佐々木寛さん(新潟国際情報大学教授) 江口昌樹さん(敬和学園大学非常勤講師)

社会的連帯経済と自治体政策

講師：田島康利さん(日本労働者協同組合連合会事務局長) 武田貞彦さん(ささえあいコミュニティ生活共同組合新潟専務理事)

子どもを地域・社会で育てる

講師：小池由佳さん(新潟県立大学准教授)

原子力と地方自治・地域の自立

講師：末田一秀さん(はんげんぱつ新聞 編集委員) 藤堂史明さん(新潟大学准教授) 桑原三恵さん(いのち・原発を考える新潟女性の会)

議会改革 自治体議員の役割を今問い直す

講師：福島浩彦さん(元我孫子市長・中央学院大学教授) 松谷清さん(静岡市議)

これからの介護は 地域包括ケアの現場から考える

講師：斎藤忠雄さん(在宅療養支援診療所・緩和ケア診療所「斎藤内科クリニック」院長)

分断と差別から共生と連帯社会へ

8/18 金曜日 受付 12:30～

挨拶：上原公子さん(元国立市長・自治体議員政策情報センター長)



上原公子

基調講演

13:10～14:30 「分かち合い」の財政で地域再生を実現する

神野直彦さん(日本社会事業大学学長)

累進課税の緩和、消費税の先送り、自己責任という名の社会保障の切捨て、デフレ克服という名の金融緩和・財政破綻が進行。財政学の観点から社会保障を再構築する道、中央政府と地方政府の役割分担、福祉国家のありかたはどうあるべきか。国の財政審議会会長など国や東京都で数多くの行政の審議会に参加した神野直彦さんが提言します。



神野直彦

トークディスカッション

14:30～16:00 共生と連帯社会をどうつくりあげるか

新潟県知事 新潟国際情報大学教授 日本社会事業大学学長
米山隆一さん × 佐々木寛さん × 神野直彦さん

分断と差別ではなく連帯・共生の経済・社会の実現に向け、教育や福祉の充実と税負担、持続可能なエネルギーや地域経済など、多面的な側面から国、自治体、市民、そして「政治」の役割と課題を議論します。



米山隆一



佐々木寛



神野直彦

分科会 I-1

16:15～18:15

日本海・東アジア地域の平和と共生

コーディネーター：佐々木寛さん(新潟国際情報大学教授)

講師：江口昌樹さん(敬和学園大学非常勤講師)

東アジア地域では現在、冷戦期の対立システムが「対北朝鮮」「対中国」を基軸に再生産され、「拉致」「核」「領土」などの問題をめぐり軍事的緊張が演出・扇動されています。これらの問題を国際法の観点からも考えるとともに、冷戦期に形成された「自治体平和外交」の成果と課題を振り返り、国境を越えた市民と自治体の真の交流の創出に向け、議論します。



佐々木寛



江口昌樹

分科会 I-2

16:15～18:15

社会的連帯経済と自治体政策

講師：田島康利さん(日本労働者協同組合連合会事務局長)

講師：武田貞彦さん(ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟専務理事)

行き過ぎた市場原理主義による格差と貧困の拡大、排外主義やナショナリズムの台頭のなか、ヨーロッパ・中南米などにおいてはこれに対抗する社会的連帯経済への期待が高まり、発展を続けています。日本、新潟における実践報告をもとに、これをさらに発展させていくための自治体政策の可能性について、現状と課題を語り合いましょう。



田島康利



武田貞彦

分科会 I-3

16:15～18:15

子どもを地域・社会で育てる

講師：小池由佳さん(新潟県立大学准教授)

子どもの6人に1人が相対的貧困、10万件を超える児童虐待相談など、子どもが育つ環境は深刻な状況にあります。これらの「外から見えにくい」課題に対し、「子ども食堂」「子どもシェルター」など地域で子どもを育てる取り組みも各地で始まっています。新潟での取り組みに加え、各地からの報告もあわせて交流しながら、地域や社会、自治体の今後の課題を考えます。



小池由佳

交流

18:45～21:00 地産地消レセプション

場所 1階レストラン

国内外で進む排外主義や差別と分断、戦争の危機と緊張が高まる日本周辺…。平和・連帯と共生社会の構築のために、地域や自治体の役割と課題は何か？

地域に根ざした市民と政党が協力して実現した「野党共闘」が参院選・知事選と2つの成功を収めた新潟。

平和、原発、貧困、介護などのさまざまな課題を、豊富な地域の実践例を通して考え、議論したいと思います。

8/19 土曜日 受付 9:00～

分科会 II-1

9:30～11:30

原子力と地方自治・地域の自立

コーディネーター：末田一秀さん(はんげんぱつ新聞 編集委員)

講師：藤堂史明さん(新潟大学准教授)

桑原三恵さん(いのち・原発を考える新潟女性の会)

原発と立地地域の産業・経済の関係に関する広範な調査から、「地域振興」というもうひとつの「原発神話」の実情を明らかにします。また、これまで新潟県として独自に原発技術問題に取り組んできた県技術委員会の経緯と成果、今後の課題、米山隆一・新知事体制での見通しなどについても議論します。併せて、各地の報告なども交えながら、原発に依存しないエネルギーや地域のあり方についても議論したいと思います。



末田一秀



藤堂史明



桑原三恵

分科会 II-2

9:30～11:30

議会改革 自治体議員の役割を今問い直す

講師：福嶋浩彦さん(元我孫子市長・中央学院大学教授)

松谷清さん(静岡市議)

議会改革は広がったものの、市民を基本に据えた真の議会改革にはほど遠いと言えます。人口減少社会において、各議員が支持者の要求実現を執行部に迫るだけの議会のあり方自体を問い直したいと思います。また、「市民派」無所属、ローカルパーティ、中央政党所属の議員の過去と未来を議論し、自治体議員のめざす姿を考えます。



福嶋浩彦



松谷清

分科会 II-3

9:30～11:30

これからの介護は 地域包括ケアの現場から考える

講師：斎藤忠雄さん(在宅療養支援診療所・緩和ケア診療所「斎藤内科クリニック」院長)

「地域包括ケアシステム」は、高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者、難病、がん患者などに対し、地域と病院・専門職を統合し、ケアの受け手や支え手という垣根を取り払い、生活圏域内で課題を解決する「我が事・丸ごと」地域共生社会実現のための仕組みとして期待される一方、課題もあります。特に自治体の役割は重要で、今後のあり方を議論します。



斎藤忠雄

全体会

11:45～12:15

オプションルツアーも実施

8/17 11:00～17:00
④新潟駅南口貸切バス広場

参加費 7,000円(昼食込み)

定員 24名 センター、協力団体の会員限定募集
注意：7月末までに参加名簿提出の必要があり、このツアーのみ 7月14日(金)締め切り。

地震による事故寸前の事態を経験した柏崎刈羽原発を訪問する

2007年の中越沖地震発生時に稼働する全ての原子炉が停止し、火災も発生した柏崎刈羽原発。その教訓は生かされず、「3.11」福島原発事故につながりました。知事選などで再稼働に反対する民意が示される一方、東電による再稼働の準備も進んでいます。原発構内と立地地域の状況を見学します。

8/17 13:00～17:00
④新潟市役所集合

参加費 2,000円

定員 20名

BRT 新潟市の公共交通網整備の現状と課題を見る ～連節バスにも試乗～

新潟市は「BRT(バス高速輸送システム)による公共交通網」として、ターミナル結節点整備やバス路線網の再編、大量輸送の可能な連節バス導入により、「誰もが移動しやすい交通環境の実現」に向けた取り組みを進めています。その計画の考え方や有効性には議論もあります。このツアーでは、市の担当者から説明を受けながら、ターミナルなどを見学、連節バスにも試乗します。

8/19 12:45～16:30
④会場より移動

参加費 4,000円(昼食込み)

定員 20名

市民発電「おらって」にいがた見学

今回の研究会実行委員会代表の佐々木寛教授が代表を務める一般社団法人「おらってにいがた市民エネルギー協議会」。2014年に市民有志により設立し、翌年から市民が出資して発電所20か所を設置。エネルギーの地産地消、安心安全な地域づくりをめざし、自然エネルギーによる発電事業の他に環境エネルギー教育や勉強会などの活動を展開しています。現場にて稼働状況を見ながら説明を受けます。「おらって」とは新潟弁で「私たち」という意味です。

8/19 12:45～16:30
④会場より移動

参加費 4,000円(昼食込み)

定員 14名

協同労働の実践、ささえあい生協の実践を学ぶ

「福祉・生きがい・仕事づくり」を掲げ、歩んできた、ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟の10年。組合員1300名、うち職員組合員230名、事業高8億円。就労支援事業所さまま舎、小規模多機能型居宅介護事業所、サロン・ド笑天街(コミュニティサロン)の3つの各事業所の見学と現場の様子をお聞かせします。